

ケイトウ

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月

国体：9月29日から10月9日 障スポ：10月13日から10月15日

国体・障スポ／一般

播種

移植

定植

開花

※摘心や切り戻しで開花時期や花数は変わります。

※育成期間は一例となります。花の生育は栽培環境によって異なります。

特徴

花の形状がニワトリのとさかに似ていることからケイトウと呼ばれ、大きくてボリュームがある。花色は赤やオレンジ、ピンクなど豊富で、鮮やかな花色で美しく花壇を彩る。トサカケイトウのほか羽毛状のウモウケイトウ、半球状に花をつけるクルメケイトウなど多くの種類がある。

播種

ケイトウの種は光を嫌いますが、小さいため覆土が厚すぎても発芽率が悪くなるので、覆土はうっすらと種が隠れる程度にします。発芽適温は25℃前後となります。



種子

原産地 — 熱帯アジア、
アフリカ
科名 — ヒユ科
花言葉 — 色あせぬ恋

移植

ケイトウは直根性なので移植を嫌います。移植する場合は子葉が展開したころ、根を切らないように丁寧に植えつけます。

定植

適した土壌：水はけがよい土壌
ポットの底から根が見えるようになったら、植え付けします。腐葉土やたい肥など土に混ぜ込んでおくとよいですが、肥料（特に窒素分）を与えすぎると葉や茎が繁殖し、かえって花つきが悪くなるので注意が必要です。株間は十分にとり、花壇植えの場合、株間は30cm程度が目安です。

管理

日当たりがよく風通しの良い場所を好みます。水やりは土の表面が乾いたらたっぷり与えましょう。日当たりが悪いと花が色褪せますので、よく日に当てましょう。